

第16期同友会釧路幹部大学のご案内

幹部社員が成長すると企業は発展します！

15年の実績、170名の修了生が企業で活躍！



激変する情勢と課題を正確に認識し、素早く対応する力が幹部に求められています。受講生自身の生き方を科学的に問いながら自己変革を迫る幹部大学。人材の優劣が企業の命運を分かつ時代です。是非、貴社の幹部を派遣してください。

北海道中小企業家同友会釧路支部
共育求人委員長 須藤 隆昭

カリキュラム

日時	テーマ	講師	内容
第1講 (人間関係) 1月9日(金) チャッスル ホテル	「社内で良好な 人間関係を作ろう」 【グループワーク・懇親会】	釧路工業高等専門学校 准教授 三島 利紀 氏	ビジネスにおいて良い人間関係を構築することが基本。グループワークを通じ社内でのよい人間関係を構築するための要諦を語る。
第2講 (文学) 1月16日(金) まなぼっと	自他を励ます語り ～有島武郎『生れ出づる悩み』 を通して～	釧路工業高等専門学校 教授 小田島 本有 氏	他人に向けられた言葉は同時に自分にも向けられる。相手を励ますメッセージによって自分も奮い立つプロセスを有島武郎の代表作から探っていく
第3講 (哲学) 1月23日(金) まなぼっと	「私とは誰か」	釧路公立大学 教授 高野 敏行 氏	私とは誰なのか？日常生活において私の存在を特別考えずに暮らしているが、そもそも「私」とはどのような存在なのか。
第4講 (幹部論) 1月30日(金) まなぼっと	「幹部が主役の会社をつくる」 【グループ討論】	(株)美警 社長 三上 葉月 氏 アルファシステム(株) 専務 荒町 敏夫 氏	企業が継続発展するためには、経営者だけではなく、幹部社員の力が必要不可欠。幹部は何を学び、何を実践すべきか。
第5講 (歴史) 2月6日(金) まなぼっと	「クスリから釧路へ」 ～釧路発展の歴史～	釧路公立大学 教授 高嶋 弘志 氏	道東は19世紀末に急速に発展した。釧路が道東を代表する都市へと成長するきっかけは何だったのか。歴史的に解明する。
第6講 (経済) 2月13日(金) まなぼっと	「昨今の経済情勢と 中小企業の果たす役割」 【グループ討論】	日本銀行釧路支店 支店長 小澤 浩太郎氏	アメリカ発の金融不安は日本国内にも着実に広がっている。中小企業に与える影響は何か。そして中小企業の未来はどうなるのか。
第7講 (実践報告) 2月20日(金) まなぼっと	「地域に根ざした 中小企業経営」 【グループ討論】	同友会釧路支部 支部長 亀岡 孝 氏 同友会釧路支部 幹事長 木内 敏子氏	企業の90%を中小企業が占めている。地域に根ざした中小企業は地域とどのように連帯を図り、企業経営していくべきなのか。その要諦を探る。
第8講 (総括) 2月27日(金) まなぼっと	「同友会運動の歴史と 私たちの課題」 【グループ討論】	<助言者> 同友会釧路支部役員	幹部大学で私たちは何を学んだのか。どのような変化を遂げなければならないのか。受講生の意見発表と役員の助言。

- 目的 広い知識と文化・科学の基礎を学ぶ
科学的なものの見方、考え方を身につける
幹部の「共育」の実践力を養い企業体質を改善する
- 対象 会員企業の幹部社員か後継者、及び経営者。
- 受講料 3万円（税込）
- 日時 2009年1月9日(金)～2月27日(金)までの8講座 18時～20時15分
- 会場 1講（釧路キャッスルホテル）2～8講（まなぼと 601号教室）
- 修了式 3月13日（金）18時～19時30分（釧路全日空ホテル）
- 運営 講義毎にレポートを作成していただきます。
5講座以上に出席してレポートを提出し、40点以上を点数した方には修了証書を授与します。
修了者は「幹部大学同窓会」に入会していただき、研修活動に取り組んでいただきます。
- 聴講 一講座5000円（幹部大学同窓生は無料）



同窓会からのメッセージ

「気づく機会」

釧路総合印刷（株） 佐々木 圭一（15期終了）

セミナーなどで話を聞く機会というのはたくさんあると思います。幹部大学はセミナーにあるような、聞く姿勢で参加するものではなく、アウトプットすることが必要です。

聞くだけ、読むだけでは得られない、学ぶ姿勢そのものを幹部大学を通じて知ることができました。釧路を支えてきた諸先輩方の人生をもとにした講義は深く、人として戒められ、励まされる内容のものばかりでした。また、グループワークもあり、面識のない方々と同じ立場で課題に取り組みます。人付き合いが苦手な人には辛いかもしれませんが、いいトレーニングになります。そして、各講義終了後には毎回レポートにまとめる課題があります。ひとつの考えを文章にまとめることに慣れていない私にとって、この課題は何より大変で、毎回ぎりぎりまで悩んでいました。卒業生の方から「内容よりも提出することが大切」と教えられ、そのことに支えられ何とか卒業することができました。

受講中の2ヶ月間はとても短い期間ですが、全8回の講義には毎回「気づく」ことがあります。それが幹部大学の面白さであり、大切なところなのだと思います。幹部大学を受講することで得られる、大きな気づきをぜひ感じとってください。

第16期同友会釧路幹部大学 受講申込書

- 申込書を事務局までFAXか郵便、電子メールでお送りください。

北海道中小企業家同友会釧路支部 共育求人委員会

〒085-0051 釧路市光陽町11-7

電話0154-31-0923 FAX0154-31-0944 kushiro@hokkaido.doyu.jp

会社名		会社電話	
受講者氏名		会社FAX	
ふりがな		Eメール	
役職		生年月日	19 年 月 日

* 切り取らないでこのままお送りください。2名以上でお申込みされる時はコピーしてお使い下さい。